教員免許更新制の課題と対応策との関係について

様々な見直しを行うことにより、教員免許更新制を教師の資質能力の確保、負担の軽減、教師確保の観点のいずれもが成立する制度に改善できるか。

課題

- 更新制に対する指摘
  - 教師の資質向上の成果が得られていない
    - 10年に１度では社会変化に対応できない
    - 時間的余裕がなくニーズに合った講習を選んでいない
    - 費やす時間や労力に見合う成果を得ることができない
    - 個々の教師のキャリアステージによることなく一律の講習
    - 講習を学校現場で生かすことができない
    - 領域（必修、選択必修、選択）の在り方を見直すべき
  - 教師の負担感がある
    - 制度が複雑で、うっかり失効を防ぐ管理が大変
    - 30時間5コマの講習が時間・費用面で負担
    - へき地からの通い等移動面での負担
  - 教師の確保に影響がある
    - 臨時的任用教員及び退職教員の活用に障害
    - 未更新者への臨時免許状の授与が可能だが低調
  - その他
    - 講習開設者に負担がある
    - 研修との相互活用が進んでいない

対応策

課題	運用上		制度上		
	講習内容の質向上	オンライン化の促進	研修と更新講習の相互活用の徹底	2年間30時間の要件緩和	免除対象者の拡大	臨時免許状の授与の柔軟化
教師の資質向上の成果が得られていない	■	■	■	■	■	
教師の負担感がある		■	■		■	
教師の確保に影響がある					■	■
その他			■			

包括的な検証において指摘された、教員免許更新制の**抜本的な見直しに向け成立させるべき３つの解**との対応関係

1．資質能力の確保

2．負担の軽減

3．教師の確保

資料５－２